



平成 30 年 7 月 17 日

柏崎市観光キャンペーンPR活動に係る広域連携について

- ▼しなのめ信用金庫（富岡市富岡 理事長 横山 慶一）は、新潟県の柏崎信用金庫（柏崎市東本町 理事長 小出 昭夫）と連携し、海水浴場開場 130 周年を迎える新潟県柏崎市の観光誘致キャンペーンを実施しています。
- ▼しなのめ・柏崎両信用金庫が、柏崎市と上信電鉄株式会社を仲介し、6月16日から8月31日までの間、上信電鉄の鉄道、路線バスに於いて開場 130 周年キャンペーンPR活動を展開しております。尚、本キャンペーンには、高崎市観光協会、富岡市観光協会、下仁田町観光協会の協力も頂いております。
- ▼上信電鉄の鉄道車両全車両（11編成22両）と高崎駅～下仁田駅までの全21駅、並びに路線バス全21両（内1両はワイド告車両）に、中吊り広告・ポスターを掲示し、海水浴をはじめとした観光客の誘致を行っています。
- ▼7月17日（火）に柏崎市の櫻井雅浩市長、柏崎信用金庫の小出昭一理事長が上信電鉄株式会社に来訪され、しなのめ信用金庫横山理事長、上信電鉄木内社長と歓談のうえキャンペーンの状況を視察しました。当日は、木内社長の案内で櫻井市長、小出理事長、横山理事長が高崎駅から特別広告が施されている電車に乗車しキャンペーンの状況を確認しました。
- ▼柏崎市の海水浴場は明治21年に日本海側初の海水浴場として開場し、以来、多数の群馬県民が鯨波海岸や石地海岸などに海水浴に訪れ、高崎駅から鯨波駅まで臨時の快速列車が運行されるほど盛況でありました。
- ▼柏崎市内には高崎市をはじめとした多数の臨海学校も運営されておりましたが、各自治体の財政悪化に伴い、臨海学校の閉鎖が相次ぎ、現在、群馬県内の各自治体が柏崎市内で運営する臨海学校は、藤岡多野広域市町村組合が運営する臨海学校を残すのみとなっております。
- ▼また、近年はレジャーの多様化、北関東道開通による茨城県の海水浴場や、圏央道の供用区間の拡大による湘南地区の海水浴場との競合により、ピーク時の1/2程度まで海水浴客が減少しております。
- ▼しなのめ信用金庫と柏崎信用金庫はしなのめ信用金庫が主催する「フードビジネス個別商談会」の共催や観光誘致など以前から親密に連携しており、今回の観光キャンペーンも信用金庫による地域経済活性化を目的とした広域連携の一環として実施するものです。
- ▼今回の観光キャンペーンを契機として、両信用金庫の仲介により、下仁田町観光協会並びに柏崎市観光協会が観光を通じた地域間連携を実施することとなり、今後、DMOに関する情報交換会開催の他、下仁田町、柏崎市相互で物品販売や観光誘致などのイベントを実施する予定です。



【上信電鉄鉄道車両・路線バスの写真】



以上